



優秀賞作品

相棒（あいぼう）

二十数年前、私は県外転勤となり、初めて営業の仕事につきましました。企業や店舗訪問のために奮発して買った革製のバッグは、大切な相棒でした。

相棒とは、仕事の時はいつも一緒に、時には訪問先への手土産の重い焼酎を入れたり、急な雨に濡らしたりと、今考えると随分ひどい扱いをしたものです。そのせいででしょうか、何年か経つと、取っ手が外れ、底には穴があき、使えなくなってしまうたのです。

数年後、転勤先から熊本に戻った私は、父が昔立ち寄っていたバッグ修理店を思い出し、相棒の修理をお願いしたのです。一週間ほどで、取っ手も穴のあいた底もしっかり修理され、相棒は私の手元に戻ってきたのです。

それから、十年以上が経ちます。その後も何回か修理し、古びていますが、今も私の相棒は現役で活躍してくれています。昔より今の方が周りから「素敵なバッグを持ってますね！」と言われること、多いんですよ。

熊本県 ペンネーム Old Timer（オールドタイマー）さん

修理店 下川カバン店

優秀賞作品

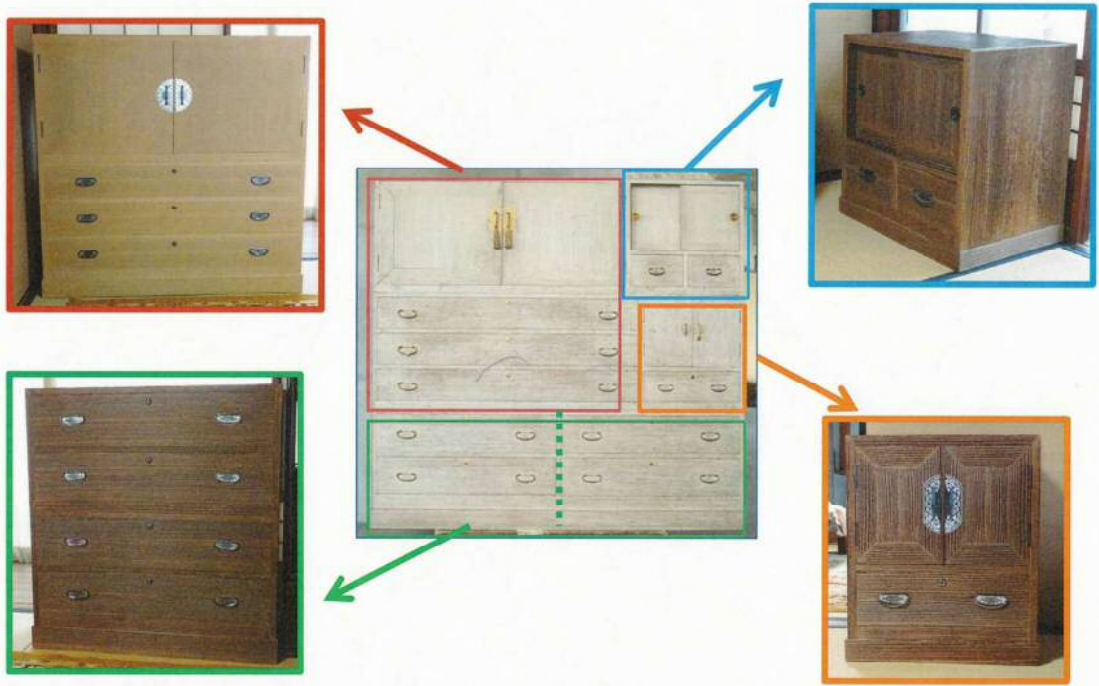
生れ変った桐箆笥

最近まで使っていました私の一間物の桐箆笥は、今から五十数年前に、私の父が嫁入り道具として持たせてくれた物でした。長い時を経てあちこちに痛みが生じ、色、艶も落ちていてどうしようかと考えていました。嫁いだ私の娘にやろうと思いましたがこのままではあまり大きく今の生活様式に合わないし、又、娘達が転勤が多く、何とかして小さい箆笥にならないものかと思い、大川のお店に相談しましたところ、何と此の度見事な四種類の箆笥に生まれ変わりました。届けて下さった時には、あまりにもきれいに出来ていましたのでびつくりいたしました。

娘も大変よろこんでくれて、今ではお座敷の一等席に衣裳箆笥、整理箆笥を並べて置いています。娘の着物たちも生れ変った衣装ケースに収まり、今か今かと出番を待っている事でしょう。

また、整理箆笥の上には博多人形と洋風の置時計を飾っています。博多人形の顔が一段と輝いて見えます。

桐里工房様 ほんとうにありがとうございました。



佐賀県 中島フサ子さん

(修理店) 桐里工房



優秀賞作品

製造から100年以上の小さな古時計

祖父の代から我が家に伝わる古い柱時計が、今でも元気に時を刻んでいます。作られた年を確認すると大正時代の前半のようです。この時計は祖父が大枚をはたいて買ってきたもので、家の時計はこの1台だけだったので、とても大事に扱っていたようです。約100年前に製造されたゼンマイ仕掛けのこの時計が今でも動いているのです。

30年ほど前、この時計を私の不注意で、柱から落としてしまったことがあります。2m以上の高さから落ちたので、ガラスは割れ、枠が歪んでしまったので、再生は無理ではないかと思ったほどです。半ば諦めながらも、近所の時計屋さんに持って行ったところ、ひと月かけて修理してくださいました。

時計屋さんからは「これは、とてもいい品物で、貴重な時計なので大切に使うてください。」というアドバイスがありました。

この時計を引き継いで、私が3代目になります。息子や孫、そして曾孫がこの時計を大事に扱い、使い続けてくれることを願っています。

長崎県 諸岩達哉さん

(修理店) 山口時計店